

教科	保健体育	科目（単位数）	体育（３）	学年	3	類型	普通科
学習 目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
評価の観点	I	知識・技能	生涯にわたって運動を豊かに継続する事ができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につける。				
	Ⅱ	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身につける。				
	Ⅲ	主体的に学習に取り組む態度	運動を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの態度を身につける。				
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標			自己評価	
年度初 ～５月上旬	体づくり運動 6 （体ほぐしの運動） ダンス 1 2		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、手軽な運動や律動的な行い、心と体は互いに影響し、変化することに気付くことができる。 ・カラーガード制作をとおして、共同や協力することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
5 月中旬 ～1 学期期 末考查	球技（サッカー） 水泳（クロール・平泳ぎ・ 背泳ぎ・バタフライ） 球技（ソフトボール） 体育理論		・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 ・手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1 学期期末 考查 ～2 学期 中間考查	球技 （バスケットボール） 体育理論（豊かなスポーツ ライフの設計の仕方）		・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2 学期中間 考查～2 学 期末考查	陸上競技（長距離走）		・ペースの変化に対応して走ることができる。 ・自分に合った走法を計画して走ることができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2 学期期末 ～3 学期 学年末考查	球技（バスケットボール）		・安定したボール操作と空間を作り出す等の連携した動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。 ・スポーツ歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について考える。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 （教科書・副教材）		教科書：「現代高等保健体育改訂版」（大修館書店） 副教材：「Active Sports 2021」（大修館書店）					
学習方法		授業に出席し、主体的な活動を通して単元に応じた自己の課題を見つけ改善できるように取り組む。					
評価方法		各運動種目（体育理論含む）により運動技能・記録取りの実技テスト（体育理論は知識テスト）7 割程度。出席・授業態度 3 割程度。					